世田谷区

本庁舎等整備工事News <Vol.5>

新庁舎の基礎工事に着手しました

これまでは、地下を掘削するための「仮の設え（仮設）」である山留工事等を行ってきましたが、いよいよ新庁舎の本体となる基礎工事に着手しました。今後、鉄筋を組み終わった箇所から生コンクリートを流し込み、地下構造体を構築していきます。

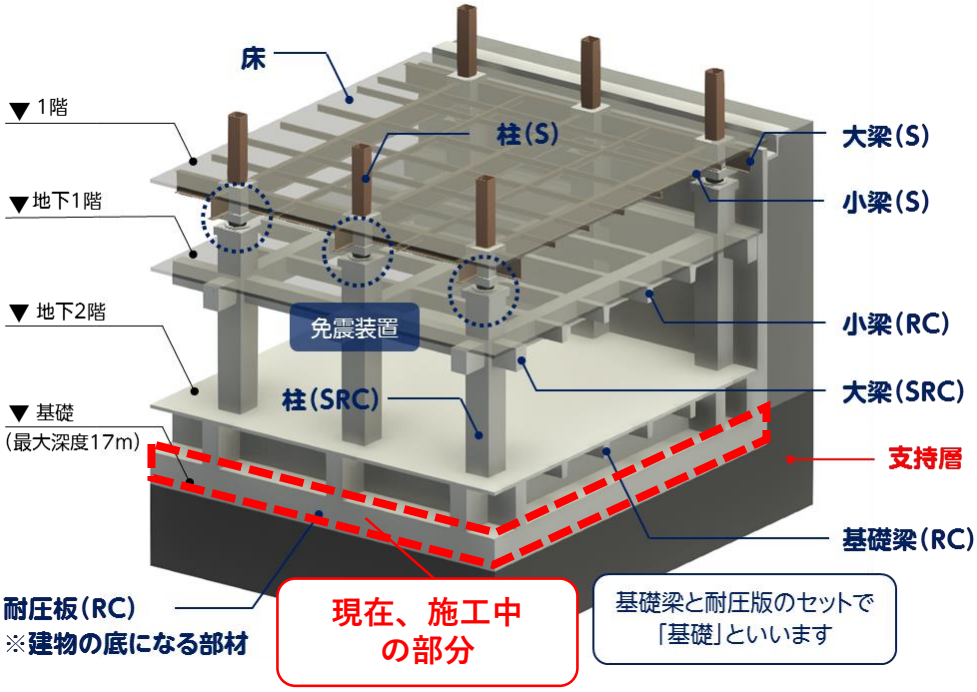
2022年6月
世田谷区
庁舎整備担当部
庁舎建設担当課

東棟

先行する工区では、建物を直接支える地盤である土丹層までの掘削が完了し、新たに建設する東1期棟の地下構造体の建設が始まっています。

建物を支える基礎に使用する鉄筋は、最も太いもので直径が35㎜あります。人の手と比べるとその太さが分かります。（上の写真）

現在は、建物の一番深い場所にある「耐圧版」と「基礎梁」の鉄筋を組み立てる工事を行っています。（右の図）



現場に搬入できる鉄筋の長さには制限があるため、工事現場では、鉄筋の太さや使用箇所に応じて、次の方法を使い分けて、鉄筋を接合して基礎を組み立てます。

■重ね継手
鉄筋同士を重ねて配置し、鉄筋に生じる力を伝達する方法

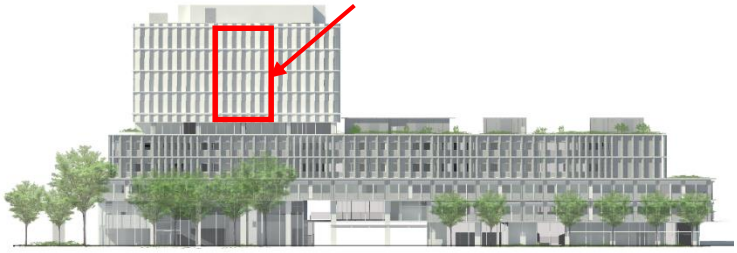
■ガス圧接継手
鉄筋同士を突き合わせ、加熱することで柔らかくし圧力により押し付けて接合する方法

■機械式継手
鉄筋を専用の鋼管に入れ、鉄筋の節との噛み合いを利用して接合する方法

東棟

今後、東棟の高層部分の外壁を再現した原寸大模型（モックアップ）を設置します。周辺道路からも見える位置に設置しますので、区役所周辺にいらした際には、是非ご覧ください。
※設置期間（予定）令和4年7月下旬から令和4年10月頃まで

この部分の原寸大模型を作成します



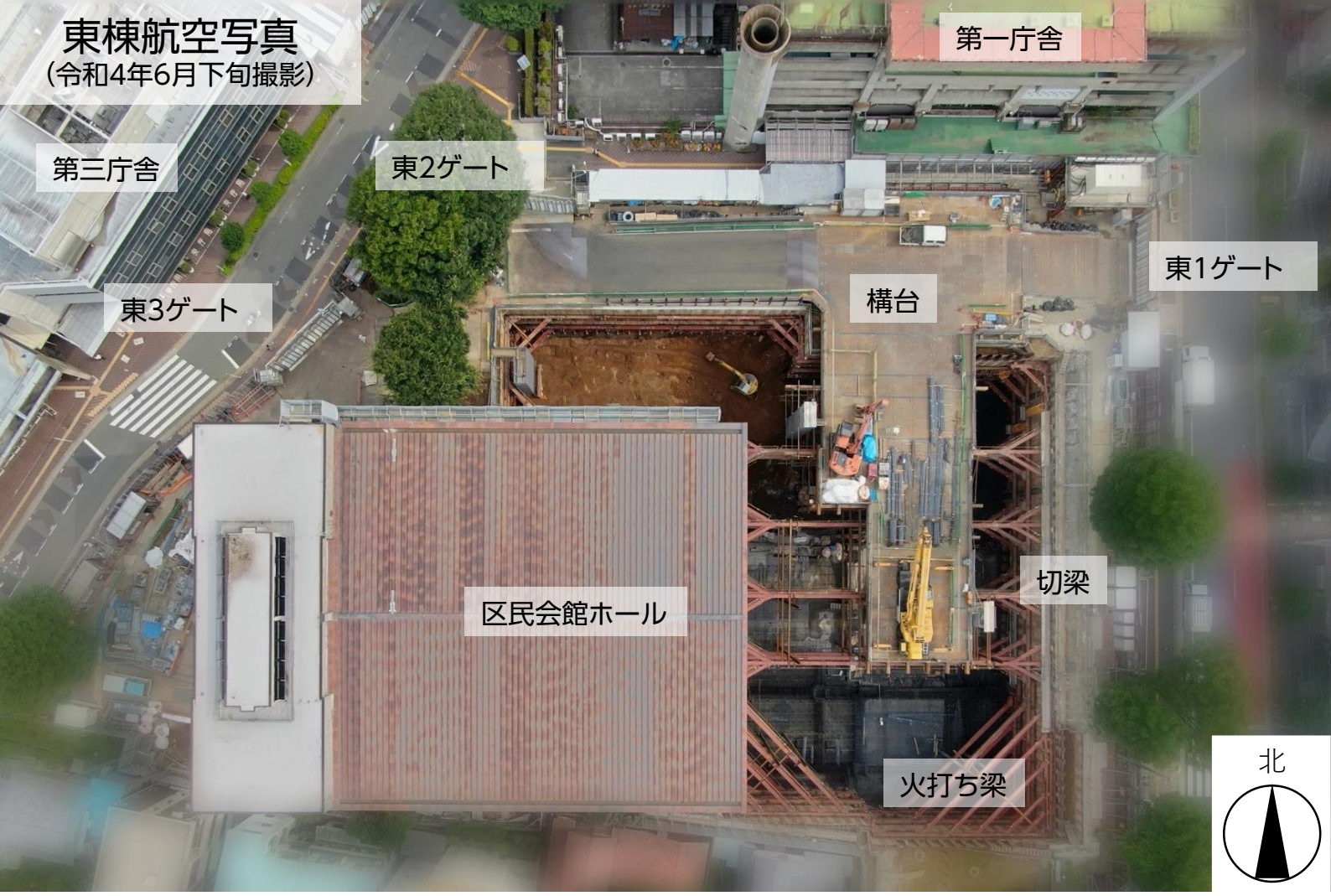
東棟立面図（区役所通り側）

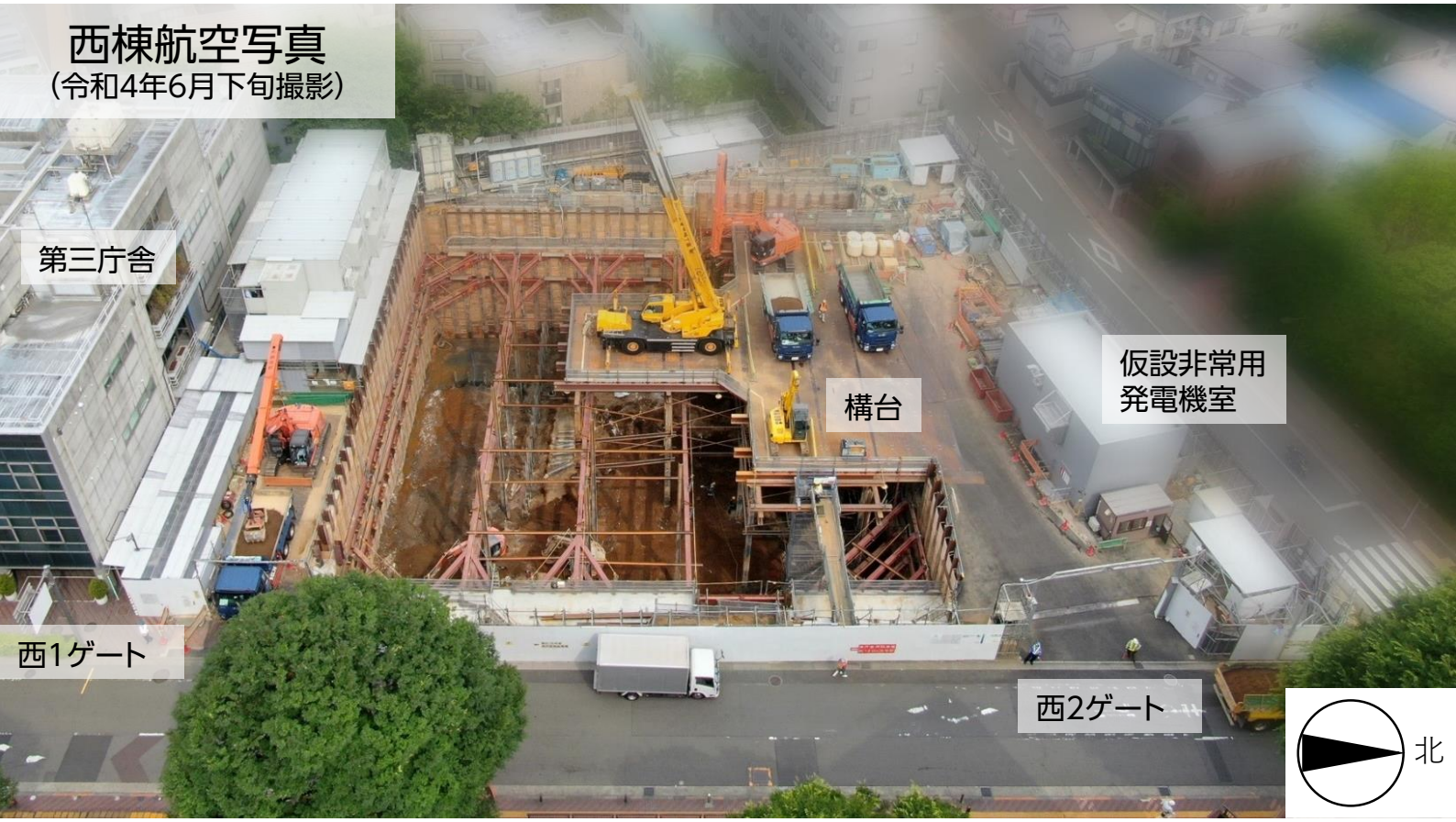
区民会館ホール

区民会館ホールは、静けさとより良い音の響きを確保する仕上げ・形状とします。ホール両サイドの壁面は、建設当時を再現したコンクリートパネルを設置します。今後は、現在の天井仕上げも撤去・新設し、現在よりも舞台開口高さを広く確保します。座席空間もこれまでより広く確保されます。
（下の「区民会館ホール完成イメージ」参照）

区民会館内部の状況（令和4年6月末）

区民会館ホール　完成イメージ





作成　世田谷区庁舎整備担当部庁舎建設担当課
〒154-8504 東京都世田谷区世田谷四丁目21番27号
電話：03-5432-2986　FAX：03-5432-3006
協力　大成建設株式会社東京支店